

当たり前のように入会する組織づくりを 第47回定時評議員会

令和3年3月18日(木)午後6時より神奈川県歯科医師会館「地下大会議室」にて定時評議員会が開催された。コロナ禍にあり書面による議決権の行使48名、出席12名にて執り行われた。

宮坂副会長の開会の辞ののち、原評議員(横須賀市)と金井評議員(川崎市)が議事録署名人に選定された。

鶴岡会長挨拶では歯科医師会の会員が当たり前のように連盟に入るような組織づくりのために松井県歯会長と新たな組織づ

くりを目指していきたい、今年の衆院選、来年の参院選と全力で取り組みたいと語った。

続いて、神奈川県歯科医師会松井会長の挨拶、島村大参議院議員の国政報告があった。

次に川越常務理事による庶務及び事業報告が行われた。その中で、執行部より檀上副理事長



熱く語る鶴岡会長 スムーズな議事進行の青山議長と嶋田副議長

から各地域主催のデンタルミーティング開催のお願い及び開催された地域への助成のお知らせがあった。報告の後、議事に入り4つの議案が上程された。

第1号議案：神奈川県歯科医師連盟選挙規則一部改正に関する件

第2号議案：神奈川県歯科医師連盟令和3年度事業計画に関する件

第3号議案：神奈川県歯科医師連盟令和3年度会費賦課並びに収納方法に関する件

第4号議案：神奈川県歯科医師連盟一般会計令和3年度収入支出予算

全ての議案が可決され、承認された。第1号議案ではコロナ禍での選挙方法の選択肢に郵便投票が入ることになる。途中、末石顧問弁護士から補足説明があった。最後に徳永副会長の閉会の辞で終了となった。



地域代表がWebで集う 地域歯科医師連盟第2回代表者会議

令和3年2月18日(木)午後6時より県歯会館6階視聴覚研修室をスタジオにした令和2年度地域歯科医師連盟第2回代表者会議が16の地域の代表が参加し、Web会議にて開催された。

長崎理事長の司会、西山副会長の開会の言葉の後、鶴岡会長の挨拶があった。

島村大参議院議員の国政報告に続き、長崎理事長より下記の報告があった。

- (1) 次期参議院比例代表選挙候補者の選考結果について
- (2) 次期神奈川県歯科医師連盟評議員・予備評議員の選出について
- (3) 次期神奈川県歯科医師連盟幹事・DMの選出について
- (4) その他
報告に続き、協議に移った。

(1) 次期衆議院議員選挙の対応について

檀上副理事長より事前アンケートをもとに、各地域の首長・議員選挙予定者、選出議員との交流などの活動、衆院選への選挙対策など説明があった。

(2) 地域歯科医師連盟からの事前質問・要望事項

長崎理事長・檀上副理事長より説明があり、日歯連盟次期参議院比例代表選挙候補者に決まった山田宏氏への支援について(横須賀市原理事長)、緊急事態宣言中の代表者会議について(大和綾瀬 池田理事長)、昨年10月の歯科用貴金属価格の随時改定Iについて(厚木 馬場理事長)の事前質問に対し、鶴岡会長が回答した。

小川副会長の閉会の言葉で散会した。

衆議院議員選挙 2021

10月21日任期満了予定の衆議院ですが、報道番組によるとその前に解散総選挙があると報じられています。オリンピック前なのか後なのか?

衆議院議員選挙は小選挙区で行われるため地域歯科医師連盟の活動が大きな力になります。

なぜ歯科医師連盟が衆院選を頑張らなくてはならないのか?

2年前の島村参議の選挙を思い出してください。自民党神奈川県連が一丸となって選挙に挑み100万票近く獲得し見事にトップ当選を果たしました。神奈川県全域を島村候補が駆け巡る中、様々なサポートをいただいたのは各地元の衆議院議員・県議会議員・市町村議員及びその秘書・後援会の方々です。この方々の力があってこそその得票数だと思っています。

選挙の借りは選挙で返す

これが4年後の参議院選挙にも影響することは言うまでもありません。

この度の新型コロナウイルス感染症対策でも島村参議には感染対策助成金や衛生物資の優先供給等迅速に活躍いただきました。これからも歯科界への政治的サポートには島村参議は絶対に必要な存在です。政治の場で益々活躍していただくためにも自民党内で島村参議の存在感を上げていかなければなりません。そのためにも**島村大の応援団No.1である我々が結束して次期衆議院選挙を戦わなければなりません**。歯科医師連盟会員の皆様には結果的に島村参議のためにご理解いただき、ご地元の議員事務所と連絡を密にして、汗をかいてこの選挙戦に挑んでいる姿をアピールしていただきたく存じます。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況下ではありますが、感染対策にご留意され会員皆様のご支援をお願い申し上げます。

(理事長 長崎康俊 記)

「県歯と連盟との一体化を目指す」

3月18日に開催された第47回定時評議員会において、県歯松井会長は、「本会・連盟両会長のもと、強力に一体化を推進して頂きたい。今回の新型コロナ対策は両会長の連携で各方面への対策が順調に進んだ貢献度は大きい。島村大参議員の行政への働き掛けも大きく、県歯全会員だけではなく県歯未入会の方々にも大きな貢献があった事は感謝しかない。今後は県歯会員の世代のギャップを克服し全会員の為に一体化のハードルをクリアーして頂きたい。次期執行部において本会と連盟の一体化に取り組んでいきたい」との考えを示した。

これを受け、鶴岡会長は次のように述べた。

「私が連盟執行部を務めた時よりこの8年、歯科医師連盟組織のあり方を見直すべきと考えてきた。平成14年4月を機に、政治活動をするためと峻別され再出発した連盟組織です。車の両輪と称されながら時を重ね、いつの間にか関連団体のひとつとされ、政治活動に興味がない、支持政党が異なるなどの理由で非会員である方々

が増え、現在その会員組織率は約70%である。

歯科医師会会員の為に県歯執行部と協働し、本会の事業計画の実現と県民の皆様の健康増進に向けて、ひとつひとつ丁寧に事業を行なっている事を発信している。連盟は歯科に特化した政治活動を行う組織であり歯科界向上を政治的にサポートすることを御理解いただき**歯科医師会会員が当たり前のように連盟の会員である組織**実現に向けて務めていく所存だ。

ご存知のように医師会は内部に委員会として医師連盟が存在し、一体化している。

県歯と連盟と県歯との一体化という組織の実現に向け、これまでに超えなくてはいけないハードルを大分超えてきたが実現はまだまだである。県歯松井会長とともに引き続き新たな組織づくりを目指していきたい。」

※峻別：はっきりと区別する事を言います。私たちの歯科医師会と連盟は事業に関して一体化されています。ただ、会計を明確に分離することは当然で、それが峻別です。今回の提案ではこの部分に変わりはありません。

鶴岡会長・関監事が立候補 次期連盟会長・監事選挙

6月30日をもって任期満了となる神奈川県歯科医師連盟会長及び監事選挙の立候補及び推薦候補の届出が4月19日から23日まで行われた。立候補は会長に鶴岡裕亮現会長、監事に関泰忠現監事となった。6月17日に投票による選挙が

行われることになっていたが、定数であるため投票は行わず、同日開催予定の第48回定時評議員会にて選挙管理委員会委員長から報告され、承認されることとなった。

島村大議員 ワクチン接種を問う！ ～国会で質問～

4月7日開催の参議員行政監視委員会で島村議員が質問に立つ。議員の活躍の一端はこちらのQRコードからじっくりご覧になって下さい。



行政監視委員会



島村大hp_fb

TOPICS

島村 大 国政報告会【歯科界の部】

～ コロナ禍の今、歯科界の現状と今後を考える ～

神奈川県内の歯科関係の皆様を対象に、コロナ禍における国と政治の現状、課題と対策についてお話しいたします。歯科界一丸となって、地域医療の提供体制を堅持しましょう。ぜひご参加ください。

令和3年4月 参議院議員 島村 大



〈日時〉 令和3年5月13日(木) 18:00～19:00 (17:30開場)

〈会場〉 崎陽軒 6階会議室 横浜駅東口 徒歩1分
横浜市西区高島2-13-12 / TEL045-441-8880

〈対象〉 神奈川県内の歯科関係者 定員150名: **先着順・要申込**

〈会費〉 無料 *会場準備の都合上、5月7日までにFAXにてお申し込みください
*定員に達し次第締め切りとさせていただきますことを、ご了承願います

〈お問合せ〉 参議院議員 島村大事務所 (自民党神奈川県参議院選挙区第三支部)
横浜市中区太田町1-9-6F TEL:045-306-5500 / FAX:045-306-5501

参議院議員 島村 大

神奈川県歯科医師連盟の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。4月7日の参議院行政監視委員会で質問に立ちました。円滑なコロナワクチン接種に向け、果たして国、県、市町村の連携は取れているか?という内容です。

神奈川県でも高齢者向けの新型コロナウイルスワクチン接種が始まろうとする中、4月7日現在で実際に接種にあたるクリニックなどの医療従事者への接種はゼロでした。

①医療従事者のワクチン接種に関する流れとはどうなっているか。現状について政府は認識しているか。

②医療機関へワクチンが届くまでの流れにおいて、滞っているのはどこか。改善策はあるか。今後はどのように進めていくか。

そもそも、ワクチン接種の実施窓口は、医療従事者向けが都道府県、高齢者など一般市民向けが市町村です。現場に別々の2つのラインがあることは混乱の要因ともなり、今後は医療者向けと高齢者向けワクチンが現場サイドで融通できるようにしたところ です。

さて、私の質問に対し、山本博司厚労副大臣からは「ある程度は進んでいると認識しており、万全の体制に向け全力で取り組む」との答弁をいただきました。これは、進んでいないとは認識されていないということです。厚労省職員の方々が、昼夜問わず必死で働いてくれていることは重々承知していますが、ワクチン接種体制が未だ整っていないことは否めません。

今後、政府はワクチンを配って終わりではなく、県や市町村の現場の混乱を直視し、その後を見据えて対応していくべきです。懸念される医師や看護師の確保についても然り。いざという時には我々歯科医師も出動の心づもりがあることを、先日、堀日歯会長が政府へ伝えたことは周知のとおりです。もちろん私もしっかりと後押しして参る所存です。会員の先生方におかれましても、ぜひご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。